

第2回 横浜市保土ヶ谷区地区センター指定管理者選定委員会 会議録	
開催日時	令和5年1月13日(金) 9時00分～12時10分
開催場所	保土ヶ谷区役所 地下会議室
出席者	〈委員〉 伊藤委員長、大久保委員、樋口委員、堀委員、吉原委員(以上5名) 〈事務局〉 金子課長、渡邊係長、熊倉、岸本(以上4名)
欠席者	なし
開催形態	公開(傍聴者:0名) ※議題3以降非公開
議題	1 オリエンテーション 2 応募団体面接審査 (1) プレゼンテーション (2) 質疑応答 3 意見交換、評価シート記入 4 指定候補者の決定
決定事項	1 一般社団法人保土ヶ谷区区民利用施設協会を横浜市上菅田笹の丘コミュニティハウスの指定候補者とした。 2 委員会の選定結果について、保土ヶ谷区長に報告することとした。
議事	1 オリエンテーション 選定委員会の進め方、応募結果、評価・選定方法等について事務局より説明。 <u><一般社団法人保土ヶ谷区区民利用施設協会></u> 2 応募団体面接審査 (1) プレゼンテーション 応募団体によるプレゼンテーションを約15分実施。 (2) 質疑応答 委員からの質疑と応募団体による応答を約15分実施。 主な質疑応答の内容は以下のとおり。 ----- 委 員: 上菅田笹の丘小学校に併設ということで多くの子どもが学校に通うことになる。放課後に子どもが利用することは考えられるか。 応募団体: 集団で下校する可能性があるので、放課後そのまま利用することは考えにくい。帰宅後の図書館の利用や放課後キッズの参加は見込める。 委 員: 今回の上菅田笹の丘コミュニティハウスの立地としてはどうか。 応募団体: 西谷駅に近くなるので、利用者は増えると考えます。 委 員: 新しい住宅ができるので、子育てサロンも賑わうと思うが、未就学児に対する取り組みは考えているか。 応募団体: 区役所と相談したうえで、ぜひ子育てサロンも実施したい。 委 員: 令和3年度の団体の収支状況が赤字なのはなぜか。 応募団体: 団体が運営する他の施設で予約システムを導入することになり、その初期費用等がかかったため。

委員：常勤1名のみでその他は臨時職員での対応ということだが、責任感なども違ってくると思う。運営上、問題ないのか。

応募団体：当初は常勤2名で考えたが、人件費がかかるので難しい。臨時職員も含めた体制で検討し、施設経験を積み、職員育成をすることで、経験の長い職員は給料を上げる等で対応していきたい。

委員：専門的な判断が必要な場合もあると思うが、緊急時のマニュアルなどあるのか。館長が不在の場合の対応についても聞きたい。

応募団体：他の施設でも緊急時マニュアルを作成しているので対応できる。
館長が不在の場合は、周りの館との連携を取り、必要があれば他施設の職員が対応する。

委員：地域コーディネート仕組みづくりについて、具体的な取り組みはあるか。

応募団体：活動団体の発表会の開催を実施し、地域活動の取組を支援していきたい。

3 意見交換、評価シート記入

(1) 応募団体の暴力団該当の可否、現指定管理者の管理運営状況について事務局より説明。

(2) 応募団体の財務状況について、吉原委員より説明。特に大きな問題はなく、5年間は問題なく指定管理を行うことができると判断した。

<特定非営利活動法人ワーカーズコープ>

2 応募団体面接審査

(1) プレゼンテーション

応募団体によるプレゼンテーションを約15分実施。

(2) 質疑応答

委員からの質疑と応募団体による応答を約15分実施。

主な質疑応答の内容は以下のとおり。

(3) 提案内容について委員による意見交換を実施。

<主な意見>

・特になし

委員：収入計画において、印刷サービスにて収入の増額を図ることを検討するとあるが、利用者が使えるような印刷機は設置するのか。

応募団体：利用者が使える印刷機を設置する。

委員：自主事業のコーディネートをするための人材・方向性等の計画はあるか。

応募団体：地域の方（民生委員、青少年指導員等）のボランティアに協力をお願いしたい。
そうした方々にも利用してもらい地域に出ていくような事業を実施したい。

委員：自主事業の収入状況が赤字になっているが、利用者に負担はしてもらうのか。
応募団体：講師に来てもらって行う事業は公平性等も考え参加者の方にも負担してもらう予定。

委員：地域コーディネートの取り組みについて、住民自らが課題を出し合うこと、職員が声かけ、地域ボランティアを活用等について、さらに具体的な取り組みはあるか。

応募団体：休館日は月1回なので、誰でも相談できる窓口や話し合う場を設ける。初めは具体的な相談日は設けず、いつでも話せる場にする。話し合いでは地域の課題を住民の方が課題を発見し、その後市民の方に自主グループづくりにもつながるようにプロジェクト的に取り組みたい。

委員：自主事業の計画に「ボッチャー」があるが、ボッチャーは子どもから大人まで幅広い世代で体験できるのでぜひ実施してほしい。

応募団体：小さな会議室でも実施できるので、運動を取り入れた子どもも楽しめる取り組みを実施したい。

委員：未就学児に対する取り組みの計画はあるか。

応募団体：主任児童委員等地域の方と企画の相談をしながら取り組みたい。

3 意見交換、評価シート記入

- (1) 応募団体の暴力団該当の可否、現指定管理者の管理運営状況について事務局より説明。
- (2) 応募団体の財務状況について、吉原委員より説明。特に大きな問題はなく、5年間は問題なく指定管理を行うことができると判断した。

3 意見交換、評価シート記入

- (1) 仮採点結果の集計を行い、各団体の提案内容について意見交換を実施。意見交換の内容は以下のとおり。

<一般社団法人保土ヶ谷区民利用施設協会>

- ・地域特性やニーズ把握が良くされている。
- ・自主事業や隣接する小学校との取り組みが具体的でよい。
- ・読書活動拠点としての取り組みも評価できる。
- ・不審者に対する訓練や未就学児に対する取り組みがもう少しあるとよかった。
- ・地域コーディネートの取り組み内容があいまいだった。

<特定非営利活動法人ワーカーズコープ>

- ・緊急時の連絡体制や犯罪予防計画などリスクマネジメントがしっかりしている。
- ・コミュニティハウスは「みんなのうち」と位置付ける考え方がよかった。
- ・公の施設として全ての利用者に対し地域を尊重し、公平に利用できるように配慮されている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校との連携があまりなかった。 ・計画に具体性がなかった。 <hr/> <p>4 指定候補者の決定</p> <p>各委員の評価点を集計した結果、一般社団法人保土ヶ谷区区民利用施設協会は 825 点満点中 674 点、特定非営利活動法人ワーカーズコープは 825 点満点中 643 点となり、最低基準点（480 点）も満たしているため、<u>一般社団法人保土ヶ谷区区民利用施設協会を指定候補者、特定非営利活動法人ワーカーズコープを次点候補者として決定した。</u></p> <p>5 特筆すべき提案について</p> <p>指定候補者の特筆すべき提案は「なし」として決定。</p>
<p>資 料</p> <p>特記事項</p>	<p>1 資料</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 選定委員会の進め方等について (2) 横浜市保土ヶ谷区地区センター指定管理者選定委員会名簿 (3) 席次表 (4) 選定委員会 当日スケジュール (5) 応募書類 (6) 評価シート (7) 確認書（応募団体との利害関係について）